

令和6年度第1回東京都ギャンブル等依存症対策推進委員会における各委員の主な意見

資料3

議題（1）ギャンブル等依存症の現状について

○若年層で、ネットやゲームを通じて課金するケースがあるため、公営競技とぱちんこ以外にも対策が必要。また、これに関連する背景として発達障害等の方への支援も検討できないか。

議題（2）ギャンブル等依存症に係る治療拠点機関の取組について

○クオリティが担保された拠点病院を設置できないか。

議題（3）ギャンブル等依存症に係る関係団体の取組について

- 児童手当について、自治体で適正な運用を行ってほしい。
- オンラインカジノについて、若者への予防を急いで取り組んでほしい。
- ギャンブルサイトのブロックিংをはじめとして、民間団体が行っている取組を国又は都が行ってほしい。
- 大学、高校で、民間団体が予防教育を行うことができるよう、都にも協力してほしい。

議題（4）東京都ギャンブル等依存症対策推進計画の改定について

- インターネットでのアクセス制限など、関係団体に負担をかけるのであれば、必要な支援を行ってほしい。
- 医療連携に当たっても、診療報酬の取り扱いなどを考慮してほしい。
- 一般の精神科への医師等への研修が必要ではないか。
- 都がけん引して、民間団体と事業者・精神保健福祉センター等との間で連携を進めてほしい。
- 高校生について、ギャンブル等依存症の実態調査をできないか。
- 生活保護の受給等に当たっても、その人にあった対応が必要
- 依存症の対応をする行政機関の職員や相談員等に、必要な研修を受けてもらいたい。